失語症者向け意思疎通支援者の養成について

１．養成研修について

養成研修予定（R４～）

養成研修実績（R3）

（養成する者の類型）

■派遣対象となる支援者（リーダー）

　・2年間で１クール。定員は10名に設定。

・講義時間数は1年目（基礎）40時間程度、2年目（応用）40時間程度とする

　・「サロン」での実習を含む

■家族等支援者（パートナー）

　・動画研修を実施し、レポート等により効果測定を実施予定

・人数や講義時間数は講師となる言語聴覚士会と調整中（養成期間は１年）

・R2はコロナの影響により研修を中止

・養成者数

リーダー 6名　（講義時間数　72時間※）

パートナー 5名　（講義時間数　24時間）

※当初は「認証」「公表」を前提としていたため、派遣に必要な講義は未実施

「認証」「公表」の取組みの見直しに伴い、

養成研修の枠組みも併せて見直し

参考　養成スキーム図示

２．その他研修について

当事者に関わる可能性のある警察や公共交通機関の職員に対し、失語症について理解を深めてもらうための働きかけを実施

（R3実績）

大阪府警察本部・・・失語症者支援に関する啓発チラシを配付（資料７）

（R4予定）

大阪府警察本部・・・窓口担当職員向けの研修にて失語症者支援の内容を

採用してもらう予定（講師を派遣予定）

大阪メトロ・JR西日本

・・・R3年度に失語症者支援にかかる啓発動画を作成し提供。

　　　R4年度の社内研修等での活用を依頼